

【小児がん対策国民会議 2023 年度事業計画】

小児がん対策国民会議は、小児・AYA 世代を取り巻く医療・社会環境の改善を目指して、患者団体、医療従事者、教育関係者、企業等の有志がワンチームとなって設立し、小児がんの薬剤の研究開発の促進と切れ目のない教育保障の実現に向けて二つのワーキンググループが中心となって活動してまいりました。

2022 年度は、薬剤 WG、教育 WG 共に、シンポジウムの開催や学会での発表など活発に活動しました。また第 4 期がん対策推進基本計画策定の年にあたり、薬剤 WG では、解決すべき課題の抽出と要望の整理を行い、教育 WG では、要望書、パブリックコメントの提出等を通して、行政（厚生労働省や文部科学省）や関係機関に活発な働きかけをしました。

薬剤に関しては、令和 4 年度、5 年度と、問題解決に向けた新しい調査研究や検討会が開始されており、この動向が注目されます。また教育に関しては、令和 5 年 3 月 30 日に文科省より通知が出され、病気療養中等の児童生徒に対する遠隔教育について、これまでは同時双方向型の授業しか実施できなかったところ、オンデマンド型についても実施可能になりました。

2023 年度は、各 WG の目的を達成するために、それぞれの WG はさらに活動を進めていくべく以下のような活動計画を立てました。

薬剤 WG

- 1) 小児がんの薬剤開発促進に向けて、今期はより効率的な薬剤開発のために必要と考えられる審査基準などについての意見を収集、整理する。
- 2) 月 1 回を目安に WG 会議を開催し、効率的な開発方法につきフランクに意見交換を行う
- 3) シンポジウムやパネルディスカッションを通じ、各ステイクホルダー、また広く社会と情報共有・意見交換を行う
 - ・第 65 回日本小児血液・がん学会学術集会内でのパネルディスカッションへのメンバーの参加を予定
 - ・年度後半に進捗報告のためのシンポジウムを予定

教育 WG

- 1) 今年度のテーマとして、切れ目のない教育の実現をめざして学籍の課題を検討する。
- 2) 月 1 回 WG 会議：切れ目のない教育の実現に向けて継続的に話し合っていく
- 3) 閣議決定後の第 4 期がん対策推進基本計画の教育課題に関する動向を注視していく。
- 4) 切れ目のない教育の実現に向け目的を共有する団体と継続して連携していく。